

第19回

ふるさと清掃運動会



報告集 2025

ふるさと清掃運動会 実行委員会事務局

ふるさと清掃運動会とは



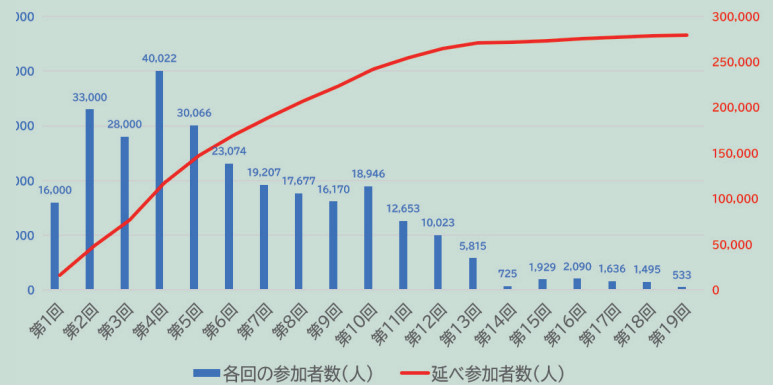
著名人からなる「富士山大好き！百人の会」が“富士山から日本を変える”を合言葉に、ふるさとの山、川、海、湖沼、街など身近なところから環境アクションを起こそう！と2007年、全国の市民、学生、企業で働く人たちに呼びかけました。毎年10月を集中月間に、もうひとつの運動会を行おうというものです。実行委員長は王貞治さん。実行委員会は市民団体、企業、学生ボランティアなどで構成しています。右の「ふるさとん」は当運動会のキャラクターです。

最近、SDGs やマイクロプラスチックによる海洋汚染、気候変動対策等、環境問題に対する社会的関心が高まっています。サステナビリティやESG投資への関心の高まり等、環境問題対策は企業活動にも影響を与える要素となっています。これらのテーマは世界的なものではありませんが、個人レベルでも日頃から身近な生活環境に興味を持ち、人々との交流によるネットワーク活動を通じて、アクションを起こせる環境づくりが求められているものと考えています。ふるさと清掃運動会では、全国各地でアクションに取り組む人々をつなぐとともに、一人一人の「ふるさと」に対するアクションを応援できる仕組みを用意しています。参加方法は簡単で、身近な所で清掃活動や植林、森づくりなど環境アクションを計画して事務局にエントリー。計画内容はホームページ等を通じて全国に知らせます。活動後は活動内容と写真を事務局に送っていただき、それらを報告集にまとめてホームページに掲載します。

実行委員会はこれまで東京湾岸大清掃作戦や富士山麓での清掃活動、また長崎県対馬で「日韓海岸清掃フェスタ」を実施。人為的境界線を越えた環境活動も展開してきました。東日本大震災に対する復興支援活動では福島県いわき市で展開しているオーガニックコットンプロジェクトを支援しました。また、これ以外にも、毎年10～11月の「荒川清掃」や、好きな場所でごみを拾いハッシュタグを付けてSNS等に投稿することで参加できる「全国一斉清掃」など、人数・場所・時間に関係なくご参加いただける仕組みを整えており、2007年の第1回から第19回の今年までこのべ27万人以上が47都道府県で環境アクションを起こしました。第17回から新たな取り組みとして開始した団体訪問では、様々な団体・個人との繋がり維持・強化を図りました。

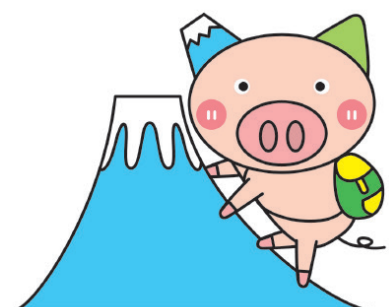
これからもふるさと清掃運動会が環境保全アクションを行う全ての方々の「ふるさと」となるべく、「継続は力だ」という言葉のもと歩み続けます。(ふるさと清掃運動会実行委員会)

ふるさと清掃運動会 開催実績



実行委員長	王 貞治	福岡ソフトバンクホークス会長
実行委員長代行	野口 健	アルピニスト、富士山クラブ理事長
顧問	亀山 久雄	元ふるさと清掃運動会事務局長
事務局長	野口 邦彦	運輸業界・学生ボランティア企画集団NUTS OBOG会長(8期代表)
事務局次長	山本 浩也	運輸業界・NUTS OB(5期)
	久保 宣映	水コンサルティング業界・NUTS OB(11期代表)
事務局	藤田 雄也	金融業界・NUTS OB(12期)
	永井 麻亜也	化粧品業界・NUTS OG(15期)
	中村 かの	新聞業界・NUTS OG(17期)
実行委員	太田 成俊	富士急トラベル
	安部 智子	IT SPORTS LEAGUE 相談役
	石坂 政俊	富士山クラブ理事
	白石 テル	T&X代表、東京一ツ橋ライオンズクラブ会員
	遠藤 賢二	毎日新聞
	山岸 正克	荒川クリーンエイド・フォーラム会員、カシオ計算機
	竹内 啓士	自動車業界・NUTS OB(7期)
	吉原 大希	食品卸業界・NUTS OB(12期代表)
	酒井 将志	不動産業界・NUTS OB(14期代表)
	平澤 佑樹	福祉業界・NUTS OB(16期代表)
サポーター	学生ボランティア企画集団NUTS22期	
	学生ボランティア企画集団NUTS OBOG	

主 催	ふるさと清掃運動会実行委員会
共 催	NPO法人富士山クラブ
	NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム
協 賛	IT SPORTS LEAGUE
	東京一ツ橋ライオンズクラブ
特別協力	全国川ごみネットワーク
協 力	富士急行株式会社
	毎日新聞社
	株式会社T&X
	学生ボランティア企画集団NUTS



「ふるさと清掃運動会」への参加方法

「ふるさと清掃運動会」はどなたでもご参加いただけます。

ごみ拾い・植林活動・清掃登山など、「環境保全のアクション」であれば、内容は問いません。

また、10月を集中月間としますが、それ以外の時期に実施していただいても構いません。

さあ、あなたも「ふるさと清掃運動会」に参加してみませんか。

【STEP 1】

各企業、団体、学校、市民、個人グループなどでチームをつくりましょう。

【STEP 2】

アクションを企画して、オンライン申込フォーマットに入力！！

(基本的にはオンライン申込にて承っていますが、ご不明点がありましたら、

事務局までご連絡ください。メールアドレス：furusatoseiso@gmail.com)

ご記入いただいた内容をもとに、ホームページ (<https://furusatoseiso.jp>) 等

を通じて全国にPRいたします。

【STEP 3】

アクション当日、アクションを実行してください。

【STEP 4】

活動実績に写真を添えて活動報告をお願いします。



6 安全な水とトイレを世界中に



ふるさと清掃運動会 × SDGs



14 海の豊かさを守ろう



ふるさと清掃運動会はふるさとの山、川、海、湖沼、街など身近なところから環境アクションを起こそう！と2007年、全国の市民、学生、企業で働く人たちに呼びかけ、毎年10月を集中月間に、もうひとつの運動会を行おうというものです。

全国の大小問わない環境アクションのプラットフォームとしての機能を高め、活動内容を共有していくことで、全国各地の取組みを相互に知るとともに刺激を与えあい、様々な環境アクションが展開されていく好循環を醸成していくことを目指しています。このエコネットワークを発展させていくことは、SDGsのうち特に以下の4つのゴール達成に資すると考えています。

6. 安全な水とトイレを世界中に

11. 住み続けられるまちづくりを

14. 海の豊かさを守ろう

15. 陸の豊かさを守ろう

11 住み続けられるまちづくりを



全国の環境アクションのプラットフォームとして機能するだけでなく、ふるさと清掃運動会の主催イベントもSDGsとの関連があります。例えば、定例的に実施している荒川清掃は「SDGs 14. 海の豊かさを守ろう」、富士山麓での清掃活動は「SDGs 15. 陸の豊かさを守ろう」の達成に資する活動です。また、2020年より実施している全国一斉清掃は活動フィールドを限定しておらず、複数のSDGs項目をカバーします。一人ひとりの活動は決して大きなものでなくても、お互いの活動内容を知り、称え合い、みんなで前進していくことでより良い未来を創ることができると考えます。ともに歩んでいきましょう。

15 陸の豊かさを守ろう



第19回 ふるさと清掃運動会 報告集

ふるさと清掃運動会の報告集は2025年度版の完成をもって19冊目を迎えました。第1回から団体のシンボルとして走り続けるふるさとんの姿はもちろん、これまで参加して下さった約27万人の方々の活動への思いが1冊1冊に込められています。過去の報告集はふるさと清掃運動会HPより閲覧いただけますので、ぜひふるさと清掃運動会が人と時代とともに歩んできた歴史を踏まえ、団体設立20周年に向けたここ数年の新たな取り組みをご覧ください。

第19回活動実績：533人



目次

ふるさと清掃運動会とは	p1
参加方法・ふるさと清掃運動会×SDGs	p2
全国一斉清掃	p4
滝沢ごみクラブ・全国ネットワーキング活動	p5
荒川清掃	p6~7
団体紹介 (IT SPORTS LEAGUE)	p8
集中月間	p9
団体紹介 (東京一ツ橋ライオンズクラブ)・ディスカッション	p10
団体インタビュー / 事務局長より / 編集後記	p11

全国一斉清掃

1人でも気軽にできる環境アクション“ごみ拾い”を通じて全国の仲間とつながろう！という思いのもと、ふるさと清掃運動会は2020年冬に「全国一斉清掃」を開始しました。このイベントは、期間内の好きな日時に好きな場所でごみ拾いを行い、所定のフォームに投稿することで参加できるイベントです。今回で8回目となる「2025年度 全国一斉清掃」は、ごみゼロの日である2025年5月30日を開始日とし、同年9月30日までのなんと124日間を開催期間と定めて実施しました。

昨年度までは1ヶ月を目安に開催していたので、ふるさと清掃運動会として新たなチャレンジとなりました。約4ヶ月間にわたる期間を3つに分け、それぞれ「はじめよう期」「ひろげよう期」「つづけよう期」というテーマを掲げ、HPやSNSなどで参加の呼びかけを行いました。

また、今回はもう1つチャレンジしたことがあります。それは、全国一斉清掃に参加するための所定の“フォーム”を今まで利用してきた「Pirika」というプラットフォームから、「ごみゼロアプリ」へと変更したことです。「ごみゼロアプリ」は2024年にリリースされ、大阪・関西万博のベストプラクティスにも選ばれ展示されたほどの今をときめくアプリケーションです。ふるさと清掃運動会でも使ってみるしかない！とのことでこの度、導入を決定しました。

全国一斉清掃全体としての結果は下記に記したとおりで、昨年度の437名から人数が大きく減る結果となってしまった一方で、SNS(Instagram)のフォロワーは活動前と比べて10%増という結果となったので、今後につながる活動ができたのではないかと思います。ご参加いただきましたみなさまありがとうございました！（事務局 マーヤ）

「2025年度 全国一斉清掃」の集計結果

参加都道府県：10都道府県 / 参加者総数：延べ191名

2020年より6年間で延べ5,400名が参加！



【コラム】Instagram 投稿

前年に引き続き全国一斉清掃チームでは、Instagramでの広報に力を入れ、活動をしました。前年はグリッド投稿で全国一斉清掃のポスターを完成させましたが、今年はCanvaを導入し、全体として統一感がありつつ、全国一斉清掃の3つのテーマごとに雰囲気を変えて投稿をしました。投稿するときは写真を1枚載せるというルールを設け、ふるさと清掃運動会の実行委員それぞれが“ふるさと”に関することを投稿しました。意図は、ふるさと清掃運動会はどのようなメンバーで運営されているのかを知っていただき、もっともっと身近な団体に感じてもらうこと、そして、ふるさと清掃運動会の活動に参加してみたい！と思っただけのこと。全国一斉清掃は一同に介す活動ではないからこそ、SNSなどで繋がり仲間意識を持つことが必要だと考えています。結果として、SNSのフォロワーは全国一斉清掃前と比べて10%増となり、より多くの人へふるさと清掃運動会の活動を広められるきっかけを作ることができました！（事務局 マーヤ）

滝沢ごみクラブ× NUTS ×ふるさと清掃運動会

滝沢ごみクラブとは

“お笑い芸人でごみ清掃員のマシンガンズ滝沢とごみを減らすためのクラブ活動です。ごみ問題をなんとかしたい！ごみの話がしたい！自分が実践しているごみを減らす取り組みを語りたい！ごみから派生して…SDGs、プラスチックフリー、ゼロウェイスト、エコ、コンポスト、再生可能エネルギー、などなど。あなたの周りには、こんなニッチな話題で盛り上げられる仲間がいなくても、ここには熱く語れる仲間達があります！楽しく「ごみ」について語り合い、共に学び、実践していきましょう！”
(公式HPより引用：<https://takizawa-gomiclub.jp/about/>)

アクションレポート

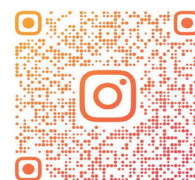
ふるさと清掃運動会では、2023年から滝沢ごみクラブが主催する「ごみフェス」に、学生ボランティア企画集団 NUTS と共同で参加しています。「ごみフェス」とは2023年から毎年5月に実施されている活動で、期間内にボランティア活動を企画実施し、その結果を滝沢ごみクラブに報告することで参加ができるイベントです。ふるさと清掃運動会と NUTS は、NUTS の本拠地である高田馬場駅周辺で街のごみ拾い活動を通して参加しています。今年は総勢 14 人でごみ拾いを行い、燃えるごみ 2 袋、瓶、缶、ペットボトルをそれぞれ 1 袋ずつ回収することができました。「ごみフェス」に参加することは、ふるさと清掃運動会のことを広く知っていただく機会になるだけでなく、NUTS の新歓活動の期間とも重なるため、NUTS の活動を広めることにも繋がると考えています。お互いに知り得なかった方と知り合い、仲間を増やして環境アクションの輪を大きくしていけるよう、来年度以降も続けていきます！
(事務局 マーヤ)



全国ネットワーキング活動

全国のような団体に、10月のふるさと清掃運動会集中月間における環境アクションをエントリーしていただくために全国ネットワーキング活動を継続的に実施しています。集中月間の前後に実施している全国一斉清掃等の告知に際して、環境アクションを実施している団体をリサーチし、お声掛けしています。また、イベントにご参加いただいた団体に対して SNS 等を通じて個別のやりとりをさせていただいています。さらに、実際に各地で開催されている環境アクション等に参加することで、活動をより深く理解するとともに、関係を深める取り組みを実施しています。地道な取り組みの成果として、X(旧 Twitter) のフォロワー数はここ数年で5倍に増え、2020年に開始した Instagram のフォロワー数は約 450 アカウントに達しました。まだまだ関係構築強化の途上です。引き続き、各団体との繋がりを広げ、発信力を強化することで、ふるさと清掃運動会のプラットフォーム機能を高めていきます。(事務局長 野口邦彦)

ぜひフォローしてください！



@FURUSATOSEISO
Instagram
@furusatoseiso



X (旧 Twitter)
@furusaton

荒川でちょっといいことごみ拾い

「荒川でちょっといいことごみ拾い（荒川清掃）」はふるさと清掃運動会が2010年から毎年開催している対面参加型イベントで、今年で15回目を迎えました。以前は協賛企業等からの参加により1000人規模で活動していた時期もありましたが、コロナ禍を経て取り巻く環境に柔軟に対応しながら活動を継続しています。

今年も活動規模や内容等を検討しながら、11月15日に東京都足立区千住大川地区で開催することとなり、それに先立ち10月に現地見下見・草刈りを行いました。なお本イベントは荒川クリーンエイドの一環として実施し、荒川クリーンエイド・フォーラムのご協力を得て、事前の申請手続きやごみ処理を実施しました。

開催当日は晴天に恵まれ、11月中旬としては暖かい気候の中、東京一ツ橋ライオンズクラブ、足立ライオンズクラブ、IT SPORTS LEAGUEはじめ、80名の方々にご参加いただきました。例年に比べごみの量は少なめでしたが、初めて参加された方からベテランまで老若男女を問わず楽しみながら荒川河川敷の清掃活動を行いました。

これからも環境アクションの始めるきっかけとしてもらえるよう、「運動会」のように楽しみながら清掃活動を行える象徴的なイベントとして継続していきたいと思えます。ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様にこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。（事務局次長 山本浩也）

主な成果

可燃ごみ

44

袋

ペットボトル

1,250

本

缶

360

本

ビン

210

本

受付&開会式

参加者や他の河川敷利用者から目立つとともに、開会式後スムーズに清掃活動を開始していただけるよう、受付は清掃場所近くの荒川河川敷堤防斜面で行いました。また参加者リストは電子化し、紙を使用しないよう環境に配慮しました。

開会式では山本事務局次長司会のもと、野口事務局長が開会の挨拶を行いました。つづいて永井事務局員からふるさと清掃運動会について簡単に紹介した後、協賛団体の東京一ツ橋ライオンズクラブの御代川様よりご挨拶を頂戴しました。その後、ごみの分別と諸注意説明を行い、参加者は各班リーダーの先導に従いA班とB班に分かれて清掃場所へ向かいました。



清掃活動

清掃場所は大きく2つのエリアに分けました。A班のエリアは広い範囲にごみが散乱しており、B班のエリアは大きなごみが固まっている箇所と、水際から打ち上げられたごみが散乱している箇所がありました。ごみの分別は大きく分けて①可燃ごみ②不燃ごみ③缶④ビン⑤ペットボトル⑥粗大ごみで、参加者同士声を掛け合いながら回収袋に分別しました。また粗大ごみは手分けをしながらエリア外の一時的ごみ集積所に搬出しました。

一時的ごみ集積所では、参加者の皆様が搬出した満杯の回収袋をスタッフが受け取り、最終ごみ集積所へ運びやすいよう纏める作業を行うとともに、順次最終ごみ集積所への運搬を行いました。活動後半には参加者の皆様にもご協力いただきながら最終ごみ集積所への運搬を行いました。

清掃活動終了後、大小問わずごみに溢れていた各エリアは見違えるほどキレイになっていました。



タイムライン

- 11:10 スタッフ集合、会場設営、最終下見
- 13:30 受付開始
- 14:00 開会式
- 14:15 移動
- 14:20 清掃活動開始
- 15:40 ごみ移動完了
閉会式
- 16:00 解散

閉会式

最終ごみ集積所への運搬終了後は、「荒川をキレイにしたぞ！オー！」の掛け声とともに拾ったごみと参加者全員で集合写真を撮影し、閉会式を行いました。閉会式では学生ボランティア企画集団 NUTS 代表の那須川さんより清掃活動の成果発表と NUTS の活動紹介、協賛団体の IT SPORTS LEAGUE の吉原様よりご挨拶をいただき、野口事務局長から閉会の言葉で締めとなりました。

今回の回収したごみは、可燃ごみ：44 袋、ペットボトル：25 袋（約 1,250 本）、ビン：7 袋（約 210 本）、缶：12 袋（約 360 本）、不燃ごみ：5 袋、粗大ごみとしてカラーコーン・散水機等などがありました。なお本イベントでの活動成果は全国川ごみネットワークが実施している「水辺のごみ見つけ！」にも報告させていただきました。

第19回ふるさと清掃運動会 メインイベント

荒川でちょっといいことごみ拾い



日時	2025/11/15(土) 14:00-16:00 受付: 13:30-14:00 <small>※当日は上記受付時間に来場もって参観ください</small>	<ul style="list-style-type: none"> ■受付後スタッフへ 1. 受付 2. 集合式・啓蒙説明 3. 清掃活動 4. ごみ集計 5. 記念撮影 6. 閉会式・記念撮影
場所	千住新橋(南詰)周辺の荒川河川敷 <small>(東京都荒川区)</small> 受付場所: 千住新橋野球場(B面)そば <small>※千住新橋下よりスタッフが誘導します</small> <small>※JR北千住駅(西口)から徒歩15分程度</small>	
持物・服装	帽子、軍手、長袖シャツ、長ズボン、汚れてよい履き慣れた運動靴or長靴(厚底推奨) <small>※トランクの取り扱いはありませんので、確実に使用したい方はご持参ください</small>	
参加申込	11/12(水)24時までに 右記申込フォームからお申し込みください https://forms.gle/Ja0FMMeCYev4v2NA <small>※必要事項：代表者氏名、代表者連絡先、参加人数</small>	
主催	ふるさと清掃運動会実行委員会 <small>(協力) 学生ボランティア企画集団NUTS NPO法人荒川クワンエイド・フォーラム NPO法人富士山クラブ 全国川ごみネットワーク</small>	

[コラム] 草刈り

今年も昨年に続き、清掃場所およびその周辺の草刈りを実行委員自身で行いました。当日は、学生ボランティア企画集団 NUTS のOB・OG が駆けつけてくれ、刈払機・鎌をうまく活用することで、草刈りをで半日で終わることができました（以前は3日程かかっていました）。雨が降り続き、肌寒いコンディションではありましたが、コミュニケーションを取り合って安全に進めました。草を刈るだけでなく、清掃場所におけるごみの状況、集合場所および移動経路など、清掃当日に向けた確認も併せて実施することができ、とても充実した一日となりました。大きな達成感とは裏腹に体は冷え切っていましたが、下町銭湯に浸かって温まった後の振り返りビールは格別でした。準備段階から楽しんでいくことの大切さを改めて感じました。



学生ボランティア企画集団 NUTS

学生ボランティア企画集団 NUTS は、2004 年に放送された 24 時間テレビ「富士山をきれいにするプロジェクト」(日本テレビ) をきっかけに発足し、2025 年度で 22 期を迎えました。NUTS の主な活動としては、月 1 回の定例清掃や、長年参加させていただいている音楽フェスでの清掃ボランティア活動などが挙げられます。一方で、NUTS は「学生ボランティア企画集団」という名のとおり、学生自身が企画を立案し、主体的にボランティア活動を行うことを大きな特徴とするサークルです。そのため、活動内容は年度ごとに少しずつ変化しながら発展を続けています。

今年度は、2023 年度から継続している NUTS を含む 3 団体による合同清掃を、より活性化させることに注力しました。具体的には、この合同清掃の本来の目的である「ボランティアサークル同士の横のつながりを広げること」を改めて重視するとともに、合同清掃を NUTS の活動の柱の一つとして確立することを目指しました。特に 12 月の高田馬場での合同清掃では、早稲田大学の公認サークル 4 団体を招待し、約 40 名規模で活動を行うことができました。清掃活動としての成果はもちろん、団体同士の交流という点においても大変有意義な機会となりました。昨年度の紹介文でも触れたとおり、今年度は「NUTS に活動の柱を築くこと」を一つの目標として取り組んできました。合同清掃は、今後 NUTS の重要な活動の柱として機能していくものと考えています。来年度、私は代表を退きますが、この柱を基盤としながら、清掃活動にとどまらない多様な取り組みへと発展させていくことを期待しています。(NUTS 代表・那須川永真)



ふるさとんからの団体紹介



ふるさと清掃運動会主催の清掃活動（荒川・多摩川）に、IT SPORTS LEAGUE 選手を中心とした社員とその家族の皆さんに参加いただいているヨ。これまで約1,000名もの皆さんが清掃活動に参加しているんだ！王貞治実行委員長も参加された第8回ふるさと清掃運動会からは、くりくり少年軟式野球連合会と少年野球教室を共催しているヨ。清掃活動前に行われた少年野球教室では、IT SPORTS LEAGUE の監督や選手の皆さんも一緒に野球指導をしてくれたんだヨ！元プロ野球選手の皆さんも参加してくださって、生きたボールと鋭いスイングを目の当たりにした子どもたちは尊敬のまなざしで見つめながら、一生懸命指導を受けていたヨ。それにしても、全員横一列に並んで声をかけながらのキャッチボールは壮観だったなあ～。もちろん午後の清掃活動にも一生懸命取り組んでくれて、河川敷がとってもキレイになったんだ！スポーツで気持ちよく汗を流し、楽しみながらごみ拾いをする…まさしく清掃運動会だよね♪

IT SPORTS LEAGUE とは

情報産業界（IT 業界）の発展を目指し設立された IT SPORTS LEAGUE は、IPI 軟式野球リーグ創設以来 30 年の歴史のあるリーグです。2011 年には、フジサンケイグループ広告大賞特別賞を受賞。野球からさらに 2002 年にサッカー、2008 年にテニス、2016 年にバスケットボールとフィールドを拡げ、設立の趣旨にもとづく IT 業界相互の親睦と参加企業の社員エンゲージメントの向上への寄与を目的に活動しています。



第6回ふるさと清掃運動会 in 荒川



第9回ふるさと清掃運動会 in 多摩川 野球教室



	会場	IT SPORTS LEAGUE 関係者参加者数
第6回ふるさと清掃運動会	荒川	約200人
第7回ふるさと清掃運動会	荒川	約200人
第8回ふるさと清掃運動会	荒川	約130人
第9回ふるさと清掃運動会	多摩川	約110人
第10回ふるさと清掃運動会	荒川	約80人
第11回ふるさと清掃運動会	荒川	約100人
第12回ふるさと清掃運動会	荒川	約70人
第15回ふるさと清掃運動会	荒川	約5人(事務局のみ参加)
第17回ふるさと清掃運動会	荒川	11人
第18回ふるさと清掃運動会	荒川	7人
第19回ふるさと清掃運動会	荒川	8人

※第13回 悪天候順延に伴い不参加、第14回 新型コロナの影響により不参加、第16回 リーグ試合が重なり不参加



集中月間 - 全国からのアクション報告 -

ぐるり富士山風景街道一周清掃実行委員会 (事務局：認定 NPO 法人富士山クラブ)

「ぐるり富士山風景街道一周清掃 2025」

活動日：2025年10月4日

活動場所：山梨県富士河口湖町、富士吉田市

参加者総数：65人

実績：ごみの回収量 60kg

集中月間とは？

ふるさと清掃運動会では毎年10月を集中月間と位置づけ、全国から環境アクションを募集しPRを行っています。清掃活動に限らず、植林活動や環境学習等、環境に関するアクションであれば何でもOKです。規模の大小問わず、様々な環境アクションがあることを広く発信・共有していきたいです。

特定非営利活動法人プロジェクト保津川

「第182回保津川クリーン作戦」

活動日：2025年10月19日

活動場所：京都府亀岡市保津町 保津大橋上流右岸

参加者総数：18人

実績：ペットボトル 50本、飲料カップ 20個、飲料缶 14本、
レジ袋 0枚、プラごみなど土嚢袋 6袋、タイヤ 2本など

※活動実績・写真等は特定非営利活動法人プロジェクト保津川様のHP・Facebookより



学生ボランティア企画集団 NUTS

「ロータリーの会主催の清掃活動への参加」

活動日：2025年10月23日

活動場所：東京都新宿区 高田馬場駅

参加者総数：30人

コメント：12月に行う高田馬場合同清掃の打ち合わせも兼ねて参加しました。NUTSで行う高田馬場清掃では、ロータリーの清掃はしないのでごみの多さに驚かされました。



港区神明子ども中高生プラザ

「ハロウィン行進隊」

活動日：2025年10月31日（雨天のため清掃活動中止） / 活動場所（予定）：東京都 港区役所、芝神明商店街

株式会社井出組

「2025年地域清掃大行動」

活動日：2025年11月12日

活動場所：静岡県富士市 砂山公園周辺の海岸（富士マリンプール南側）

参加者総数：126人

コメント：「地域清掃大行動」は、今年で16年目の取り組みになります。今年も静岡県の「プラスチックごみ6R 県民運動」に賛同登録し、砂山公園南側の海岸砂浜でプラスチック、紙、木くず等の清掃を行いました。協力会（井出組信栄会）の取引業者からの参加も多数あり、120人を超える規模で実施することができました。回収したごみは、ごみ袋で30袋程になりました。



エム・エムブリッジ株式会社

活動日：2025年6月17日

活動場所：広島県広島市西区観音新町 リョーコーセンタービル周辺

参加者総数：18人

コメント：今後もこのような清掃活動を通じて地域貢献に務めて参ります。





ふるさと清掃運動会の活動にご協賛いただき、荒川清掃にご参加いただいている「東京一ツ橋ライオンズクラブ」を紹介するヨ

ライオンズクラブ

ライオンズとは、「Liberty Intelligence Our Nation' s Safety」

(自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる)

の頭文字を並べたもので、これをスローガンとして様々な奉仕活動を実施しています。

ライオンズクラブは、「ライオンズクラブ国際協会」という世界最大の社会奉仕団体に所属する単位クラブで、世界205カ国、135万人、日本では10万人を超える会員で構成されています。

荒川清掃に毎年参加

東京一ツ橋ライオンズクラブは荒川清掃に毎年参加してくれているんだ。

特に2021年以降の延べ参加者数は約30名(※)で、僕も皆さんと一緒にごみ拾いするのが楽しみだよ♪

※ 各回の参加者数 第15回：7名 第16回：5名 第17回：4名 第18回：5名 第19回：6名

ひとこと

東京一ツ橋ライオンズクラブは、様々な職種の人が「奉仕」活動を目的として、集合している団体です。

メインの活動は、年に2回、有楽町の数寄屋橋交差点で「盲導犬育成支援募金活動」を行っています。募金活動をしながら、盲導犬育成支援がいかに大切であるかを、たくさんの通行人の前で、周知・働きかけをしております。盲導犬は家族の一員であり、大切なパートナーであり、盲導犬のおかげで「今日も外出しよう」との前向きな気持ちになるとのお話を実際に聞きました。目の見えない人・見えにくい人にとって、少しでも前向きになれるよう、今後とも「盲導犬育成支援募金活動」を行っていきます。(東京一ツ橋ライオンズクラブ ライオン・テーマー 御代川正佳)



ふるさと清掃運動会事務局の取組み ～次なる5～10年に向けたディスカッション～

2026年1月24日、例年の報告会に代えて「ふるさと清掃運動会20周年 次なる5～10年に向けたディスカッション」をオンラインにて開催しました。これは2026年度にふるさと清掃運動会が20周年を迎えるにあたり、ふるさと清掃運動会やボランティアを取り巻く環境と社会の変化を認識し、ともにふるさと清掃運動会を作り上げている参加者の価値観や想いを語り合い、次の5～10年で取り組んでいくビジョンやアクションプランを考えていこうというものです。当日は事務局メンバーをはじめ、ふるさと清掃運動会の活動にもご協力いただいている全国川ごみネットワークの伊藤さん、環境NPO法人富士山クラブの佐伯さんにもディスカッションに参加していただきました。

山本事務局長の挨拶で開会。まずこれまでのふるさと清掃運動会の活動などを振り返り、印象的な出来事などを語り合いました。続いて団体運営を長年していく中で感じている課題について伊藤さんと佐伯さんに話を伺うとともに、参加者が感じているボランティアを取り巻く環境の変化について意見交換を行いました。それらをもとに「ふるさと清掃運動会が変わるべきこと」「ふるさと清掃運動会が変わらず大事にすべきこと」についてディスカッションを行い、最後にふるさと清掃運動会に期待することを各自発表し閉会となりました。

限られた時間でしたが、ふるさと清掃運動会への期待を多くいただくとともに、参加者同士で熱い想いをぶつけあうことができ、有意義なディスカッションとなりました。今後ディスカッションの内容をもとにこれからのビジョンやアクションプランの制定を行っていきます。

(ふるさと清掃運動会事務局)

団体インタビュー

2022年からスタートした新企画。

ふるさと清掃運動会と関わりのある方々に活動内容やふるさと清掃運動会への想いをインタビューしました！下記のリンクや右のQRコードからアクセス可能です。

<https://note.com/furusatoseiso>

取材を受けてくださる方々も募集中ですので気軽にご連絡ください！

掲載団体一覧

01. 認定 NPO 法人富士山クラブ
02. 学生ボランティア企画集団 NUTS
03. NPO 法人湘南クリーンエイドフォーラム
04. NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム
05. 中高生ボランティア団体 NEXUS
06. 環境ボランティアサークル亀の子隊
07. NPO 法人プロジェクト保津川



【団体インタビュー-06】環境ボランティアサークル亀の子隊

今年度からスタートした「団体インタビュー」は、ふるさと清掃運動会に参加していただいている団体や企...



【団体インタビュー-07】NPO法人プロジェクト保津川

2022年度からスタートした「団体インタビュー」は、ふるさと清掃運動会に参加していただいている団体や企...



【団体インタビュー-06】環境ボランティアサークル亀の子隊

今年度からスタートした「団体インタビュー」は、ふるさと清掃運動会に参加していただいている団体や企...



【団体インタビュー-05】中高生ボランティア団体NEXUS

今年度からスタートした「団体インタビュー」は、ふるさと清掃運動会に参加していただいている団体や企...



【団体インタビュー-04】NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム

今年度からスタートした「団体インタビュー」は、ふるさと清掃運動会に参加していただいている団体や企...



【団体インタビュー-03】NPO法人湘南クリーンエイドフォーラム

今年度からスタートした「団体インタビュー」は、ふるさと清掃運動会に参加していただいている団体や企...



【団体インタビュー-02】学生ボランティア企画集団NUTS

「団体インタビュー」実施は、学生ボランティア企画集団NUTSを取材しました。大学生のサークルで、ふる...



【団体インタビュー-01】認定NPO法人富士山クラブ

今年度から新企画「団体インタビュー」をスタートしました。これはふるさと清掃運動会に参加していただ...



事務局長より

第19回ふるさと清掃運動会においては、全国一斉清掃を中心に SNS 投稿を強化したり、「荒川清掃」では様々なコミュニティに属する方々に参加いただいたり、ふるさと清掃運動会のプラットフォーム機能を強化することができました。

他方で、来年度にふるさと清掃運動会は第20回を迎えますが、世の中には様々なアクティビティがあり、情報を得る方法も多岐にわたる環境において、「選ばれる」団体・イベントになることの難しさを感じています。個人的に関わりのある複数のボランティア団体においても同じような課題を持っているように感じています。時代に適応した活動・運営を模索して、柔軟に変化できる組織でありたいと思う次第です。そのために、様々な団体の関係者との交流や世の中の事例調査等を通じて、また、多様なキャリアを持つ弊団体の関係者の知恵をうまく調和させていくことが事務局長の仕事の一つと考えています。さらに、小さなことでも新たに挑戦することで、これまでになく知見を得る、組織のレベルが上がる、という好循環に繋がっていくと考えています。例えば、日本を母国としない方々に対して有効なアプローチができないか、ということも考えていきたい領域としてあり、こちらも様々な団体と連携しながら取り組めると良いと考えています。

最後に、私自身は常に「知的好奇心」と「行動」を大事にしています。何かしらやってみようということがある方、是非気軽にご連絡ください。ふるさと清掃運動会と皆さんが持っている人脈や知識を掛け合わせて、一緒におもしろいことをやっていきましょう。小さな一歩から皆さまと歩んでいきたいと思えます。弊団体が培ってきた価値・ご縁・繋がりを大事にするとともに、サステナブルな組織運営と多様なネットワーク構築を目指してまいります。(事務局長 野口邦彦)



編集後記

2025年度も「第19回ふるさと清掃運動会」が元気に開催された。「全国一斉清掃」は約4ヶ月間にわたる期間を3つに分けて、それぞれ異なるテーマを取り組むという新たなチャレンジを行うとともに、Instagramで継続的に投稿を行い参加を呼び掛けた。残念ながら参加者数は伸びなかったものの、フォロワー数が増加しふるさと清掃運動会のPRにつながった。「荒川清掃」では例年に比べごみの量は少なめだったが、初参加者からベテランまで老若男女を問わず楽しみながらごみを拾うことができた。「集中月間の取り組み」では全国各地から報告が寄せられ、ふるさと清掃運動会がもつネットワークの大きさを感じることができた。「ふる

さと清掃運動会 20周年 次なる5～10年に向けたディスカッション」では参加者同士で熱い想いをぶつけあい、有意義なディスカッションとなった。まもなく「第20回ふるさと清掃運動会」を迎える。これまでたくさんの方々の支えにより継続して活動できたことに感謝するとともに、引き続き持ち前の元気よさとネットワークで、全国への環境保全アクションの橋渡しを担うべく、私たちはこれからも歩み続ける。

(事務局長 山本浩也)





第19回ふるさと清掃運動会 報告集

2026年3月31日発行

編集委員 野口邦彦 / 中村かの

発行 「ふるさと清掃運動会」実行委員会事務局

住所 〒401-0332 山梨県南都留郡富士河口湖町西湖 2870
富士山クラブもりの学校内

「ふるさと清掃運動会」実行委員会事務局

メール furusatoseiso@gmail.com

URL <https://furusatoseiso.jp>

